

公衆衛生看護展開論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 野村 陽子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護学部、衛生学公衆衛生学講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

地域看護学展開論で学んだ地域における多様な保健活動について、発達段階別、健康課題別の具体的な保健活動の課題と施策、そして活動を展開する方法について実践的に学ぶ。また、学校保健、産業保健については、その保健活動の特性を理解し、学校、産業における保健活動の展開方法について学修するとともに、看護職の役割について理解する。

・教育成果（アウトカム）

母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者の保健、障害児者施策、精神保健、歯科保健、感染症等の対象別の保健活動について、それぞれの健康課題と対策について講義等で理解した上で、支援が必要な対象者への保健指導に関する演習を通して、必要な保健活動を具体的に考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 様々な人々との協働を通して、健康上の諸課題への対応に参画できる。
2. 災害が健康・生活に与える影響について説明できる。
3. 保健・医療・福祉における課題（生活習慣病、母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者の保健、障害児者施策、精神保健、歯科保健、感染症等）の動向と対策について説明できる。
4. 虐待等、特別な状況にある子供や家族、社会の特徴を理解し、必要な保健指導を説明できる。
5. 高齢者の健康リスクについてアセスメントし、予防する看護を説明できる。
6. フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念を説明でき、予防の看護を実践できる。
7. 心身の健康障害に対する正しい理解への啓発活動について説明できる。

8. 地域における心身の健康増進や障害者の生活を支えるシステムについて説明できる。
9. 回復期にある人が障害に応じた生活を送るために、活用できる社会資源と連携し、就労等について説明できる。
10. 家庭・学校・職場等におけるメンタルヘルス向上のための支援について説明できる。
11. 発達障害を早期にアセスメントし、適切な環境を提供する支援について説明できる。
12. 精神疾患を持つ人の地域生活支援について、関係者と協働する必要性と方法を説明できる。
13. 産業保健における看護の在り方と方法について説明できる。
14. 学校保健における看護の在り方と方法について実践できる。
15. 行政機関における保健活動について実践できる。
16. 災害看護活動の場における食事、排泄、睡眠、清潔、環境といった生活への援助、身体的・精神的
17. 健康管理および要配慮者、避難行動支援者への看護について説明できる。
18. 被災地域の人々、多職種との連携・協働、安全なケア環境の提供を継続する必要性、二次災害の発生と危険、被災者、旧誤射のストレスと心のケアについて説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 3-B 実習室、(欠) マルチ 4-A 講義室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/4	水	2	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	対象に応じた保健活動の展開と感染症における疾病管理 ・ 結核等感染症の疾病管理が説明できる
9/9	月	1	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	母子保健活動 ・ 離乳食や予防接種について指導できる
9/9	月	2	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	障害者（児）保健活動 ・ 発達障害児・児童虐待等の親子に対する保健指導が説明できる

9/10	火	1	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	歯科保健・口腔衛生活動 ・乳幼児の歯科保健指導が実施できる
9/10	火	2	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	感染症保健活動 ・O157 など感染症集団発生時の対応について説明できる ・平常時の感染症予防活動が説明できる。
9/10	火	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	災害保健活動 ・災害対策について理解ができ、災害時の保健活動について説明できる
9/11	水	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	成人保健活動 ・特定保健指導に係る対象別保健指導が実施できる
9/13	金	1	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	高齢者保健活動 ・介護予防に係る保健指導を実施できる
9/18	水	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	学校保健における保健活動 ・学校保健活動について説明できる
9/18	水	4	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	産業保健における健康課題と施策 ・産業保健の動向と健康課題及び対策について説明できる

9/19	木	3	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	学校保健における保健教育と健康 診査 ・保健教育と健康診査について説 明できる ・不登校等の健康課題を持つ児童 への対応について説明できる
9/19	木	4	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	保健室の運営、環境衛生および組 織活動 ・保健室の運営について説明できる ・環境衛生活動について説明できる
9/19	木	5	地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 看護学部 看護学部	野村 陽子 教授 宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 藤原 弥生 助教 大澤 扶佐子 非常勤講師 松岡 真紀子 非常勤講師	精神保健活動 ・精神保健に係る様々な個別支援 について説明できる
9/25	水	4	衛生学公衆衛生 学講座	坂田 清美 教授	産業保健における健康診査、健康 相談およびメンタルヘルス活動 ・産業保健における健康診査、健 康相談等の活動について説明で きる ・職場のメンタルヘルス向上のた めの支援について説明できる
10/2	水	4	衛生学公衆衛生 学講座	坂田 清美 教授	産業保健における疾病管理および 環境管理 ・産業保健における疾病管理及び 環境管理について説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版	中谷 芳美等	医学書院	2018
参	公衆衛生看護活動論 技術演習 第3版	岩本 里織 他	クオリティケア	2018
参	公衆衛生看護学テキスト 公衆衛生看護活動Ⅱ	荒木田美香子 他	医歯薬出版株式会社	2014

・成績評価方法

定期試験 80%、演習への取り組み 20%、合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。演習はグループワーク、ロールプレイ等を行うことから、演習開始前には、関連する教科書および配布資料を読み、学修のポイントを理解した上で参加すること。最低 30 分以上の事前事後学修を要する。授業終了後は主体的に自己学修を行い、知識の理解と定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。
演習の評価は評価表に基づき評価し、後日学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター（VPL-FW60）	1	講義用スライド
演習	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影